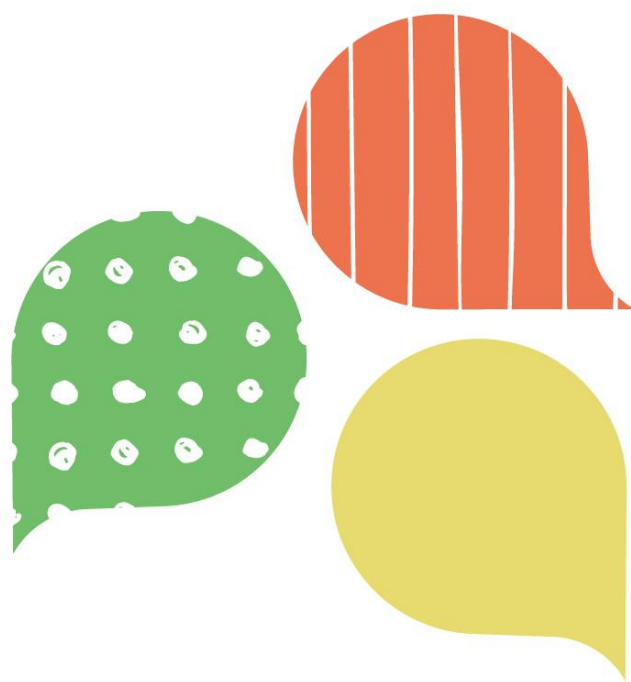


令和3年度
大野市社会福祉協議会事業計画（案）



おおの市社協



社会福祉法人大野市社会福祉協議会

令和3年度大野市社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

現在、わが国では少子高齢・人口減少社会を迎え、地域コミュニティの脆弱化、災害の増加、貧困や孤立問題が深刻化しています。また、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が全国に拡大したことで、生活のあり様が大きく変わり、ますます「支え合い・助け合い」等、地域福祉の重要性が再認識されているところです。

このような状況の中、本年度は、本協議会の活動指針となる「第五次地域福祉活動計画（5ヵ年計画）」の1年目にあたり、その基本理念である「結の心でつながる福祉まち」の実現のため、着実な計画推進を第一義に考え、地域住民や行政、関係機関・団体との強力な連携と協働のもと、「地域の福祉力」が確立されるよう次のところに力点を置いて各事業に取り組みます。

地域福祉事業については、第四次地域福祉活動計画の評価課題であった子どもの頃からのボランティア体験を通じた福祉教育の推進、雪かき等を含めたボランティアニーズ調査によるボランティアマッチング機能の強化、身近な地域での支え合い・助け合い活動をさらに推進するほか、市民一人ひとりがその人らしく安心して生活することができるよう、生活あんしんセンター「結はあと」による適切な権利擁護の推進に努めていきます。

介護保険事業等においては、利用者の権利と人格を尊重し、本人の自立支援に資する質の高い介護サービスを提供します。また事業関係者と連携を密にし、新規利用者の増加を図ります。

II 重点目標

1 地域で支え合いと助け合いの地域福祉活動の推進

- 高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、住民や高齢者に関する団体、行政、生活支援コーディネーター等が参画する協議体（第1層、第2層）を運営し、地域での支え合いの体制づくりに向けた意見交換のほか、情報の共有及び連携の強化を図ります。
- 地域での生活・福祉課題の解決に向けて、地域の関係者の連携を進めます。

2 福祉教育の推進とボランティア活動の強化

- 小さい頃から、ボランティア体験を通して地域のさまざまな人と関わりを持ち、思いやりの心や助け合う意識を育めるよう福祉教育を推進します。
- 市民のボランティアニーズ調査を実施し、ボランティアマッチング機能の向上を図ります。

3 権利擁護や生活支援サービスの充実

- 法人後見事業では、制度普及啓発や相談活動を行うとともに、判断能力が不十分な方に対する福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理を行う日常生活自立支援事業と連携し、セーフティネットの一翼を担います。

4 介護保険事業等の経営安定化とサービスの質の向上

- 利用者やその家族から信頼され選ばれるサービスをめざし、質の向上を図るとともに、経営状況について検討・分析を行い、健全な経営の維持に努めます。

IV 各事業の具体的な取り組み

事業名	1 事務局運営事業
事業形態	大野市補助事業
事業費	【予算61,831千円】 大野市補助金(35%)、大野市受託金(0.5%) 自主財源(64%)、その他(0.5%)
事業目的	適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整など社協全体の管理業務を行う。
事業内容	<p>(1) 法人経営の組織体制の充実強化</p> <p>①役員等による会議等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催(年4~5回) ・評議員会の開催(年2~3回) ・監事会(監査)の開催(年1回) ・正副会長会議の開催(月1回) ・総務部会・事業部会の開催(年1~2回) ・役職員研修会の開催(年1回) <p>②職員による会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議の開催(月1回) ・おの社協だより構成会議の開催(年4回) ・会計担当者会議の開催(随時) <p>③その他の会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任委員会の開催(年1~2回) ・福祉サービス等に関する苦情解決第三者委員会の開催(年2回) <p>(2) 財政基盤の強化</p> <p>①一般会費、賛助会費の会費納入の促進</p> <p>②赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金運営の協力</p> <p>(3) 人材の育成</p> <p>①職員研修(外部研修への参加、内部研修の実施)の充実</p>
事業名	2 地域福祉活動推進事業
事業形態	大野市補助事業
事業費	【予算3,062千円】 大野市補助金(40%)、自主財源(60%)
事業目的	地区社協及び福祉委員の地域福祉活動を支援し、小地域における地域福祉の推進体制の充実と自主活動の促進を図るとともに大野市全体の地域福祉力を高める。
事業内容	<p>(1) 地区社協活動支援</p> <p>各地区社協で取り組む事業や活動に対して、必要に応じて協力や連携、情報提供を行い、市内の地域福祉活動推進の調整を行う。</p> <p>①地区社協会長会議の開催(年1回)</p> <p>②地区社協活動事業費補助</p> <p>③市社協と各地区社協の連携・支援</p> <p>(2) 福祉委員活動支援</p> <p>身近な地域における住民の生活・福祉課題を見守り活動や声かけ・相談対応しながら早期発見すること等を目的に設置された福祉委員(214人)活動を支援する。</p> <p>①福祉委員会会長会議の開催(年1回)</p> <p>②福祉委員会活動事業費補助</p>

	<p>③福祉委員を対象とした研修会の開催（年1回）</p> <p>④市社協と各地区福祉委員会の連携・支援</p> <p>(3) 小地域支え合い支援事業の実施（20か所予定）</p> <p>福祉委員を核として地域の関係者（区長、民生委員児童委員等）が連携、協働して、地域の生活・福祉課題をみんなで考え、解決できるよう支援する。</p>
事業名	3 地域福祉イベント事業
事業形態	大野市補助事業
事業費	【予算2,975千円】 大野市補助金（57%）、自主財源（43%）
事業目的	福祉ふれあいまつりや社会福祉大会を通して、子どもから高齢者まで、そして障がい者の全ての人々が、ふれあい・交流することによりお互いの立場の理解を図り、市民の福祉意識の高まりと、ふれあいの輪の拡大を図る。
事業内容	<p>(1) 福祉ふれあいまつりの開催</p> <p>期日：令和3年6月5日（土）予定</p> <p>会場：結とびあ</p> <p>内容：ステージイベント、世代間交流、チャリティーバザー等</p> <p>(2) 大野市社会福祉大会の開催</p> <p>期日：令和3年9月25日（土）予定</p> <p>会場：結とびあ</p> <p>内容：①社会福祉の増進に対して功績のあった個人、団体の表彰</p> <p>②多額の寄付をいただいた個人、団体への感謝状の贈呈</p> <p>③福祉講演会の開催</p>
事業名	4 つながりの輪づくり事業
事業形態	福井県社協補助事業
事業費	【予算115千円】 福井県社協補助金（97%）、自主財源（3%）
事業目的	ボランティア活動を通じた地域のつながりの輪づくりを推進し、市民の主体的な参加による地域福祉活動の強化を図る。
事業内容	<p>ボランティア活動の参加促進やボランティアセンターの充実を図る。</p> <p>・ホームページでのボランティア情報発信等</p>
事業名	新 5 子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業
事業形態	福井県社協補助事業
事業費	【予算155千円】 福井県社協補助金（97%）、自主財源（3%）
事業目的	子どもが中心となり、地域の実情に応じた身近なテーマの下で、学校を含めた様々な関係機関・団体と地域住民等で構成する協議体を設置して、プログラムを企画・実施し、主にサービラーニングの手法による福祉教育を通し、地域福祉の推進を図る。
事業内容	子どもが中心となり、学校、保護者、地域住民を含めた協議体を設置し、地域の福祉課題やニーズを反映できるようプログラムを企画し、実施。
事業名	6 生活支援体制整備事業（第1層）
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算1,883千円】 大野市受託金（83%）、自主財源（17%）
事業目的	新総合事業における生活支援等サービスの体制整備に向けて、住民ボランティア等多様な主体による生活支援サービスの充実を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりの推進を図る。

事業内容	<p>高齢者の生活支援体制の整備を推進するために生活支援コーディネーターを配置し、また、定期的な情報共有及び連携の場として「協議体」を運営する。</p> <p>(1) 第1層生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の開発 ・ネットワークの構築 ・ニーズと取り組みのマッチング <p>(2) 推進会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結の心でつながる支え合いの地域づくり推進会議の開催（年4回） ・コーディネーターの組織的な補完 ・高齢者の実態調査等の結果から地域課題の洗い出しと整理 ・コーディネーターと推進メンバー等との情報の共有 ・企画、立案、方針施策を行う場としての機能
事業名	7 生活支援体制整備事業（第2層）
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算2, 887千円】 大野市受託金（61%）、自主財源（39%）
事業目的	新総合事業における生活支援等サービス体制整備に向けて、陽明中学校区において、住民ボランティア等多様な主体による生活支援等サービスの充実を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりの推進を図る。
事業内容	<p>高齢者の生活支援体制の整備を推進するために生活支援コーディネーターを配置し、また、定期的な情報共有及び連携の場として「協議体」を運営する。</p> <p>(1) 第2層生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握と担い手の発掘 ・社会資源の開発 ・ニーズと取り組みのマッチング ・第2層協議体支援 <p>(2) 第2層協議体の立ち上げ及び運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下庄地区での立ち上げ準備会の開催（年3回） ・第2層協議体発足式及び勉強会の開催（年1回）
事業名	8 生活支援体制整備事業（第2層 乾側）
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算720千円】 大野市受託金（100%）
事業目的	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる、多様な主体による多様な生活支援サービス・介護予防事業の提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート等を行い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化を図る。
事業内容	<p>(1) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握及び創出 ・支援ニーズの把握 ・支援ニーズに即したサービス提供主体の紹介 ・関係者間のネットワークの構築 <p>(2) 第2層協議体の運営に関する業務</p> <p>(3) サービスの担い手となるボランティア等の養成に関する業務 等</p>

事業名	新 9 生活支援体制整備事業（第2層 大野）
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算720千円】 大野市受託金（100%）
事業目的	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる、多様な主体による多様な生活支援サービス・介護予防事業の提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート等を行い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化を図る。
事業内容	(1) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握及び創出 ・支援ニーズの把握 ・支援ニーズに即したサービス提供主体の紹介 ・関係者間のネットワークの構築 (2) 第2層協議体の運営に関する業務 (3) サービスの担い手となるボランティア等の養成に関する業務 等
事業名	10 ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算3,137千円】 大野市受託金（75%）、自主財源（25%）
事業目的	在宅の気がかりな高齢者に配食サービスを行うことにより、安否の確認と健康の増進を図り、もって自立生活の助長と社会的孤立の解消に資する。
事業内容	(1) ひとり暮らし高齢者配食事業 買い物や調理が困難で、健康に不安のあるひとり暮らし高齢者に安否確認を兼ねて民生児童委員の協力を得て、65歳以上のひとり暮らし高齢者の配食の希望調査し、調理はボランティアまたは業者に依頼し実施する。 対象者：65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者世帯 約50人 (2) まごころ訪問サービス事業 福祉委員・民生児童委員・ボランティアの協力を得て、月1回の配食を各地区の自主計画により実施する。 対象者：70歳以上のふたり暮らし高齢者世帯・障がい者世帯及び65歳以上の介護保険利用者で見守りの必要なひとり暮らし世帯 約120人 その他：配食ボランティアの育成と食中毒予防等の研修会を開催
事業名	11 ひとり暮らし高齢者のつどい事業
事業形態	大野市補助事業
事業費	【予算342千円】 大野市補助金（62%）、自主財源（38%）
事業目的	ひとり暮らし高齢者につどいの場を提供することにより、参加者同士の交流の輪をひろげるとともに、高齢者の孤立の防止となるきっかけづくりを支援する。
事業内容	ひとり暮らし高齢者のつどい「かたらいの会」の開催 期日：令和3年10月9日（土）予定 会場：結とびあ 内容：会食及び交流会 参加者：65歳以上の一人暮らし高齢者約200人、ボランティア約20人

事業名	12 在宅介護支援センター事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算3,459千円】 大野市受託金(55%)、自主財源(45%)
事業目的	概ね65歳以上の要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じる。 また、保健・福祉サービスが総合的に受けられるように市等の関係機関、サービス実施機関及び居宅介護支援事業所との連絡調整を行い、要援護高齢者、家族等の福祉の向上を図る。
事業内容	(1) 要援護高齢者等の心身状況、家族状況等の実態把握及び情報提供 (2) 各種保健福祉サービス及び介護保険サービスの広報 (3) 要援護高齢者等の在宅介護等に関する相談及び広報 (4) 保健福祉サービスの利用申請手続きの受付 (5) 地域住民から相談を受け、市包括支援センターへのつなぐための窓口設置及び市地域包括支援センター業務の協力に関する事業の実施 (6) 福祉用具と住宅改修に関する相談及び助言 (7) 高齢者ふれあいサロンを卒業したサロンの支援
事業名	13 家族介護教室事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算401千円】 大野市受託金(81%)、自主財源(19%)
事業目的	在宅介護支援センター事業の一つとして、高齢者を介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続・向上を図る。
事業内容	介護保険認定者家族を中心として、社協が担当している地域において、介護教室を開催。 対象地域：陽明中学校区、和泉中学校区(年3回のうち1回は和泉地区で開催予定)
事業名	14 高齢者ふれあいサロン事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算766千円】 大野市受託金(99%)、自主財源(1%)
事業目的	高齢者ふれあいサロンを開設し、相互のふれあいを通じて、高齢者の生きがいと社会参加を促進することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の支援及び介護予防を図る。
事業内容	高齢者ふれあいサロンの開催 概ね65歳以上の高齢者を対象に、健康や福祉サービスの相談、情報交換会、食事会、手芸講座等を公民館や地区の集落センターにおいて月1回開催。 開設箇所：1年目サロン2箇所(中荒井町2丁目、新規1か所) 2年目サロンなし 3年目サロン1箇所(国時団地サロン) 利用者数：1サロン1回あたり平均10人程度
事業名	15 お出かけほっとサロン事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算12,148千円】 大野市受託金(100%)
事業目的	市内の温浴施設において、高齢者等の交流活動を促進し、介護予防や閉じこもり予防及び健康づくりを推進する。

事業内容	<p>市内温浴施設（あつ宝んど、うらら館、フレアール和泉、パークホテル九頭竜、）において転倒予防・認知症予防のため、栄養改善指導や軽体操等をし、また昼食、入浴を通して交流をする。</p> <p>対象者：老人クラブ、障がい者団体</p> <p>利用回数：170回（1団体 年10回）</p>
事業名	16 高齢者巡回ホームヘルパー派遣事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算3,776千円】 大野市受託金（70%）、自主財源（30%）
事業目的	独居や虚弱等の高齢者宅にホームヘルパーを派遣し、巡回相談を行うことにより、在宅での自立生活の助長と要介護状態への進行予防を図る。
事業内容	<p>ホームヘルパーによる安否確認及び生活相談支援</p> <p>利用者：65歳以上の高齢者 約40人</p>
事業名	17 ボランティア活動推進事業
事業形態	大野市補助事業
事業費	【予算1,675千円】 大野市補助金（48%）、自主財源（52%）
事業目的	ボランティア活動を推進するため、各種ボランティア養成講座を実施し、またボランティアに関する広報・啓発活動を拡充し、ボランティアの育成を図るとともに、大野市ボランティア活動ネットワークを核とした横の連携をボランティアセンター中心にして進める。
事業内容	<p>(1) ボランティアセンター運営</p> <p>①ボランティア活動ネットワーク会議の開催（年1～2回）</p> <p>②ボランティアグループの育成及び組織化、グループ活動への支援</p> <p>③ボランティアセンターの利用促進</p> <p>(2) ボランティアの啓発・登録・斡旋</p> <p>新①若年のボランティア活動の促進</p> <p>新②市民のボランティアニーズ調査の実施及びマッチング強化</p> <p>③復縁ボランティア制度の周知及び利用促進</p> <p>④新規団体の発掘及び登録</p> <p>⑤社協だより、ホームページ、行事による広報、啓発</p> <p>⑥ホームページ公開、リアルタイムな情報の発信</p> <p>⑦ボランティア紹介パネルの展示、団体紹介冊子作成配布</p> <p>⑧福祉ふれあいまつりや福祉体験授業を契機とするボランティア広報・募集</p> <p>⑨ボランティア保険への加入促進</p> <p>(3) ボランティア講座・研修会の開催</p> <p>①ボランティアスキルアップ講座の開催（年2回）</p> <p>②ボランティア視察研修会の開催（年1回）</p> <p>③ボランティア情報交換会の開催（年1回）</p>
事業名	18 災害ボランティア活動推進事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算207千円】 大野市受託金（97%）、自主財源（3%）
事業目的	大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる「大野市災害ボランティアセンター」を核としての確な対策が図られるよう、平常時において構成団体等相互の連

	携と協力関係の構築を図る。
事業内容	(1) 災害ボランティアセンター連絡協議会の開催（年1回） (2) 大野市総合防災訓練の参加（10月予定） (3) 災害ボランティアに関する研修の実施（年1回） (4) 郡上市社協との平常時からの連携
事業名	19 障害者社会参加支援事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算1, 276千円】 大野市受託金（99%）、自主財源（1%）
事業目的	障がいのある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくりの実現に向けて、障がい者の需要に応じた事業を実施し、障がい者の自立と社会参加の促進を図る。
事業内容	(1) スポーツ・レクリエーション教室の開催 ①在宅の障がい者（児）やその家族を対象に教室を開催（年3回） (2) 点字・声の広報等発行 ①広報おおの、社協だより等を音訳で提供（年12回） ②国の広報、本を点字で提供（年12回） (3) 福祉機器（車椅子、ベッド）の無料貸出 (4) 奉仕員養成事業の開催 新①音訳ボランティア養成講座（年10回） 新②障がい者日常生活支援講座（年1回）
事業名	20 障害者相談支援事業
事業形態	大野市受託事業
事業費	【予算6, 873千円】 大野市受託金（100%）
事業目的	障がい児者や難病者等及びその家族を対象として、行政や関係する地域の保健・医療・福祉・教育等のサービス機関、就労支援機関等との綿密な連携のもと、利用者等の相談支援を行い、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援する。
事業内容	(1) 相談支援 ①福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等） ②社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言、指導等） ③社会生活力を高めるための支援（社会生活能力向上訓練（年10回）） ④ピアカウンセリング ⑤権利擁護のための必要な援助 ⑥専門機関の紹介 ⑦地域生活移行支援 (2) ピアサロンいちご会の運営（年47回） (3) 各会議の開催 奥越地区障害者自立支援協議会全体会、運営会議、相談支援連絡会、専門部会
事業名	21 日常生活自立支援事業
事業形態	福井県社協受託事業
事業費	【予算6, 261千円】 福井県社協受託金（51%）、自主財源（49%）
事業目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力の不十分な方（契約能力がある方）が、地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービス利用援助等を行うことにより、本人の権利擁護に資する。

事業内容	<p>専門員 2 人、生活支援員 7 人（登録 9 人）で支援</p> <p>(1) 福祉サービスの利用援助</p> <p>(2) 日常的な金銭管理</p> <p>(3) 書類等の預かり</p> <p>・利用者 36 人（うち生活保護 2 人含む）</p>
事業名	22 法人後見事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算 850 千円】 自主財源（100%）
事業目的	<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力の不十分な方が、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるように社会福祉法人として後見人等に受任し、本人の権利擁護に資する。</p>
事業内容	<p>大野市社会福祉協議会生活あんしんセンター「結はあと」業務</p> <p>・現受任件数 3 件（うち被後見人 1 人、被保佐人 2 人）</p> <p>(1) 権利擁護・成年後見サポート事業</p> <p>・権利擁護・成年後見等相談・利用手続き支援、広報・啓発活動等</p> <p>(2) 法人後見事業</p> <p>・大野市社会福祉協議会生活あんしんセンター運営委員会及び大野市社会福祉協議会法人後見受任審査会の運営</p> <p>・成年後見制度に関わること、後見人等申し立てにかかる相談受付等</p> <p>・財産管理及び身上監護（本人に代わっての福祉サービスの契約等）</p> <p>(3) 日常生活自立支援事業との連携</p>
事業名	23 福祉資金貸付事業
事業形態	福井県社協受託事業、自主事業
事業費	【予算 1,155 千円】 福井県社協受託金（56%）、自主財源（44%）
事業目的	<p>所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に資金（県社協の生活福祉資金）の貸付を行うほか、生活保護世帯に準じた低所得世帯が不測の事態により緊急かつ一時的な援護を必要とする理由が生じたとき、資金（本協議会の福祉資金）の貸付を行い、生活の安定を図る。</p>
事業内容	<p>(1) 県社協が実施する福祉資金貸付業務の相談及び受付</p> <p>・福祉資金（技能習得、出産・葬祭、住居移転、緊急小口資金等）</p> <p>・教育支援資金（高校、専門学校、短大、大学等に関する学費等）</p> <p>・総合支援資金（失業者等の生活再建に関する費用） 等</p> <p>(2) 当社協が実施する福祉資金貸付</p> <p>・福祉資金（最低生活費、生業費、教育費、医療費等）</p> <p>1 利用 30,000 円</p>
事業名	24 共同募金配分金事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算 3,999 千円】 大野市受託金（19%）、自主財源（81%）
事業目的	<p>共同募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）に対する市民の理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、配分金を地域福祉の推進に有効に活用する。</p>

事業内容	<p>(1) 共同募金推進活動 大野市共同募金委員会へ協力し、募金活動の推進に努める。 ①戸別、法人募金等の依頼 ②街頭募金等の啓発活動の推進</p> <p>(2) 共同募金配分金事業 市民から寄せられた赤い羽根共同募金を地域の福祉活動に助成・還元する。 ①福祉教育推進事業……………【675千円】 ・市内の小中学校に福祉学習費用の助成及び福祉体験教室の指導 ②障がい者ふれあい交流事業……………【560千円】 ・日帰り旅行の実施 ③総合相談事業……………【880千円】 ・無料法律相談の実施（月2回） 第2・4木曜日 午後1時～4時 予約制 ・心配ごと相談の実施（月2回） 第2・4木曜日 午前9時～正午 ④広報活動事業……………【555千円】 ・ホームページ（随時更新）、社協だより発行（年3回） 新⑤児童元気応援事業……………【145千円】 ・夏休み等での子どもの交流活動支援</p> <p>(3) 歳末たすけあい募金配分金事業 市内から寄せられた歳末たすけあい募金を地域の福祉活動に助成・還元する。 ①生きがづくり奨励事業……………【288千円】 ・各地区の老人クラブに対し、花壇や農園づくり等に要する経費を助成 1地区 36,000円 8地区 ②ひとり親家庭支援事業……………【130千円】 ・親子クリスマスケーキづくりとレクリエーションの開催 ③児童遊具修繕助成事業……………【90千円】 ・児童遊具の修繕にかかる経費の1/2を、3万円を限度に助成 3箇所予定 ④在宅障がい者介護用品支給事業……………【499千円】 ・在宅の障がい者に対して、オムツを月に90枚限度に購入の1/2を助成 ⑤共同募金啓発事業……………【177千円】 ・共同募金広報ページを社協だよりに掲載し、発行（年1回）</p>
事業名	25 障害者計画相談事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算4,002千円】 自主財源（100%）
事業目的	障がい者が障害福祉サービスを利用する前にサービス等利用計画書を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行う。また障がい児が、通所支援を利用する前に障害福祉サービス等利用計画についての相談や作成などを行い、障がい者の自立した生活を支え、適切なサービス利用に向けて支援を行う。

事業内容	<p>(1) 障がい者（児）の計画相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを利用する際の利用計画書の作成支援 ・サービスの利用確認（モニタリング） <p>(2) 基本相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体、知的、精神障がい者本人又は家族等からの相談に応じる <p>(3) 障がい者の認定調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市より障がい者認定調査の依頼を受けて調査を行う
事業名	26 障害者居宅介護サービス事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算8,330千円】 自主財源（100%）
事業目的	障がい者が居宅において日常生活を営むことができるよう、その障がい者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、身体介護、家事援助、重度訪問介護、同行援護のサービスを提供する。
事業内容	<p>障害福祉サービス受給者証の交付を受けている身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児の在宅や野外活動において下記の内容で支援する。</p> <p>(1) 身体介護（食事、入浴、清拭、排泄、更衣介助）</p> <p>(2) 家事援助（買い物、掃除、洗濯、整理整頓）</p> <p>(3) 通院介助（通院付き添い介助、乗降介助）</p> <p>(4) 同行援護（視力障がい者の方への付き添い介助）</p> <p>(5) 行動援護（重度障がい者（知的障がい等）の方への付き添い介助）</p> <p>(6) 地域生活支援（移動支援、外出支援）</p>
事業名	27 放課後等デイサービス事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算28,876千円】 自主財源（100%）
事業目的	学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障がい児の自立を促進するとともに放課後等の居場所づくりを推進する。
事業内容	<p>障がい児を放課後及び長期休暇預かり、本人の健康状態を確認しながら社会適応能力向上のための指導や、遊び支援をする。</p> <p>定員：10人</p> <p>内容：本人の放課後見守り支援及び保護者の就労環境支援</p>
事業名	28 居宅介護支援事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算28,060千円】 自主財源（100%）
事業目的	居宅要介護者等が居宅サービス等を適切に利用することができるようその依頼に基づき、居宅サービス計画書の作成、介護相談、事業者との連絡調整等の適切な居宅介護支援を提供する。
事業内容	<p>(1) ケアマネジメントの実施</p> <p>ケアマネジャーが利用者の依頼に基づいて家庭を訪問し、心身の状態や生活の状況全般を把握し、生活上のニーズを明らかにする。明らかになった生活ニーズを解決するため本人の同意を得て居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービスの調整を行う。またサービスの実施状況を定期的にモニタリングし、ニーズとの適合性を把握する。</p>

	<p>その後、必要に応じてサービス計画の変更や、サービスの再調整を行い、地域での継続的な生活を支援する。</p> <p>(2) 介護予防ケアマネジメント業務の受託</p> <p>必要に応じて、市地域包括支援センターより介護予防ケアマネジメント業務を受託し、事業対象者・要支援者のアセスメントから給付管理までを行う。</p>
事業名	29 訪問介護事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算20,075千円】 自主財源(100%)
事業目的	介護保険サービス利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を営むことができるよう、利用者の選択によりホームヘルパーが食事介助・入浴介助・排泄等の身体介護や、買い物・掃除・洗濯等の生活援助を提供する。
事業内容	<p>(1) 援助計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅サービス計画に基づいて、訪問介護利用者の援助計画を作成 <p>(2) 訪問介護サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員により、訪問介護サービス(身体介護、家事援助)提供 <p>(3) 他事業所、専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援に関わる他の事業所、専門機関と連携し、適切な役割分担と協働によって利用者の在宅生活を支援
事業名	30 和泉通所介護事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算30,707千円】 自主財源(100%)
事業目的	要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の介護及びレクリエーションを行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
事業内容	<p>和泉デイサービスセンターで、介護の必要な高齢者に入浴や機能訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の心身機能の向上に努める。</p> <p>定員：18人</p> <p>内容：健康チェック、食事の提供及び介助、入浴介助、機能訓練指導、生活指導及び相談、送迎</p>
事業名	31 天神通所介護事業
事業形態	自主事業
事業費	【予算61,300千円】 自主財源(100%)
事業目的	要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の介護及びレクリエーションを行うことにより利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
事業内容	<p>天神デイサービスセンターで、介護の必要な高齢者に入浴や機能訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の心身機能の向上に努める。</p> <p>定員：25人</p> <p>内容：健康チェック、食事の提供及び介助、入浴介助、機能訓練指導、生活指導及び相談、送迎</p>



社会福祉協議会のシンボルマーク

このマークは、全国共通の社会福祉協議会のシンボルマークです。

社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るいまあわせな社会を建設する姿」を表現しています。